

化学物質安全データシート (MSDS)

会 社 株式会社ニチレイバイオサイエンス
住 所 東京都中央区築地 6-19-20
担当部署 品質保証部
電話番号 03 - 3248 - 2208
FAX 番号 03 - 3248 - 2243
緊急連絡先 同上
作 成 2010年8月11日

MSDS No. 415182、415184

製品名 シンプルステイン AEC 溶液

製品コード	成分	単一製品、混合物の区別
415182、415184	3-アミノ-9-エチルカルバゾール 0.1vol%未満の過酸化水素	混合物

適用法令：研究用試薬

成分の一覧及びその他の適用法令

番号		その他の適用法令
1.	3-アミノ-9-エチルカルバゾール	-
2.	0.1vol%未満の過酸化水素	労安法：「文書交付の対象となる物質」政令第18条の2 別表第9の126（0.1%未満のため適用除外） 毒物劇物取締法：劇物（6%以下のため適用除外）

火災時の措置 消火方法 関係者以外は安全な場所に退去させ、火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行い、状況に応じて呼吸保護具を着用する。
消火剤 水、粉末、炭酸ガス、乾燥砂

漏洩時の措置 ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除き、消火用器材を準備する。作業の際にはゴム手袋、防塵マスク、保護眼鏡等を着用し、皮膚に付着したり吸入したりしないようにし、風下で作業をしない。
・ 飛散したものは、乾燥砂、土、不燃性吸着剤等に吸収させて、密閉できる空容器に出来るだけ回収し、残りは大量の水を用いて洗い流す。

この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

輸送上の注意 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。容器は直射日光を避け、2-8℃で保存し、輸送する。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには注意して下さい。
含有量、物理化学的性質の値は保証値ではなく、記載の内容は随時改訂されることがあります。

1. 3-アミノ-9-エチルカルバゾール

物質の特性

単一製品、混合物の区別 : 混合物

化学名 -----

MSDS No. 415182、415184

成分及び含有量	3-アミノ-9-エチルカルバゾールが含まれている。	
化学式／分子量	C ₁₄ H ₁₄ N ₂ =210.27	
化審法公示番号	-----	
CAS No.	132-32-1	
国連分類	-----	国連番号 -----
PRTR 法	該当しない。	労働安全衛生法 該当しない。

危険・有害性の分類

分類の名称	原体は毒性物質。
危険性	発癌性あり。
有害性	眼、鼻、のど、皮膚、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす。アレルギーを引き起こす可能性がある。 吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまい、息切れなどを引き起こす。皮膚からも吸収される。
環境影響	データなし。

応急措置

眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高温物，スパークを避け、保管する。 ・ 吸い込んだり、眼，皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。 ・ 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。 ・ 漏れ，あふれ，飛散しないようにする。 ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。 ・ ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。 ・ 容器は直射日光を避け、2-8℃で保存する。

暴露防止措置

管理濃度	-----
許容濃度	-----
設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。 ・ 取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。
保護具	通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

外観等	溶液	蒸気比重	-----
沸点	-----	蒸気圧	-----
融点	-----	比重	-----
溶解性	エタノール、水に可溶。		

危険性情報 安定性, 反応性 発癌性あり。
データなし。

有害性情報 急性毒性 腹腔内投与 マウス LD50 150mg/kg (C₁₄H₁₄N₂)

慢性毒性 ----- 変異原性 あり

がん原性 ----- 刺激性 あり

廃棄上の注意 廃棄物業者へ委託して処理する。

2. 0.1vol%未満の過酸化水素

物質の特性

単一製品, 混合物の区別 : 混合物

化学名	-----
成分及び含有量	過酸化水素が 0.1%未満含まれている。
化学式／分子量	H ₂ O ₂ =34.01
化審法公示番号	-----
CAS No.	7722-84-1
国連分類	----- 国連番号 -----

危険・有害性の分類

分類の名称	酸化性物質
危険性	加熱、酸化剤などにより可燃性の酸素を発生する。
有害性	眼、鼻、のど、皮膚、気管支粘膜などを刺激して炎症を起こす。吸入、経口摂取により頭痛、吐き気、めまい、息切れなどを引き起こす。目に入ると失明する恐れがある。
環境影響	データなし。

応急措置	眼に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合	付着部または接触部位を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹼でよく洗い落とす。皮膚に炎症を生じた時は医師の手当てを受ける。
	吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、充分うがいさせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当てを受ける。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。また、嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
	誤飲した場合	意識のある場合は多量の水を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。患者に意識がない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。

取り扱いおよび保管上の注意

- 取り扱い
- ・高温物, スパークを避け、保管する。
 - ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に接触しないように適切な保護具を着用する。
 - ・取り扱い場所には局所排気装置を設置する。使用後は容器を密栓する。

- ・漏れ，あふれ，飛散しないようにする。
 - ・容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの粗暴な扱いはしない。
- 保管
- ・保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類は接地する。
 - ・ボイラー等熱源付近や可燃性の近くに置かない。
 - ・容器は直射日光を避け、2-8℃で保存する。

暴露防止措置

- 管理濃度 -----
- 許容濃度 -----
- 設備対策
- ・屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化、または局所排気装置を設置する。
 - ・取り扱い場所の近くに安全シャワー，手洗い，洗眼設備を設けその位置を明瞭に表示する。
- 保護具
- 通常、保護衣、保護眼鏡、保護手袋、保護長靴等を使用し、状況に応じて、送気マスク、空気呼吸器などを使用する。

物理／化学的性質

- | | | | |
|-----|-------------|------|-------|
| 外観等 | 溶液 | 蒸気比重 | ----- |
| 沸点 | ----- | 蒸気圧 | ----- |
| 融点 | ----- | 比重 | ----- |
| 溶解性 | 水、エタノールに可溶。 | | |

- 危険性情報
- 環境影響情報
- 分解して酸素を発生する。
データなし。

- 有害性情報
- | | | | | |
|------|-------|-----|------|------------------|
| 急性毒性 | 経口投与 | マウス | LD50 | 2g/kg (過酸化水素として) |
| 慢性毒性 | ----- | | | 変異原性 ----- |
| がん原性 | ----- | | | 刺激性 あり。 |

- 廃棄上の注意
- 廃棄物業者へ委託して処理する。